

各位

横浜税関



誤びゅう削減のお願い

平素より税関行政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

輸出入申告書等のデータを基に作成されている「貿易統計」は、国際収支統計や経済政策の策定のための基礎資料となるなど、わが国の貿易の実態を最も的確に把握できる統計として重要な役割を果たしております。

横浜税関では2025年に発生した「誤びゅう原因」並びにこれまでに発生した主な「誤びゅう事例」を取りまとめましたので、より正確な貿易統計の作成にご協力をお願いします。

(1) 誤びゅうになる前に・・・ 価格再確認欄の活用をお願いします

システム申告において誤びゅうとなったものの多くで、「価格再確認欄」に「H」や「L」が表示されています。

輸出入申告事項登録で「価格再確認欄」に「H」や「L」が表示された場合は、申告価格が高価又は安価な理由を確認するだけでなく、下記の申告内容についても確認するようお願いします。

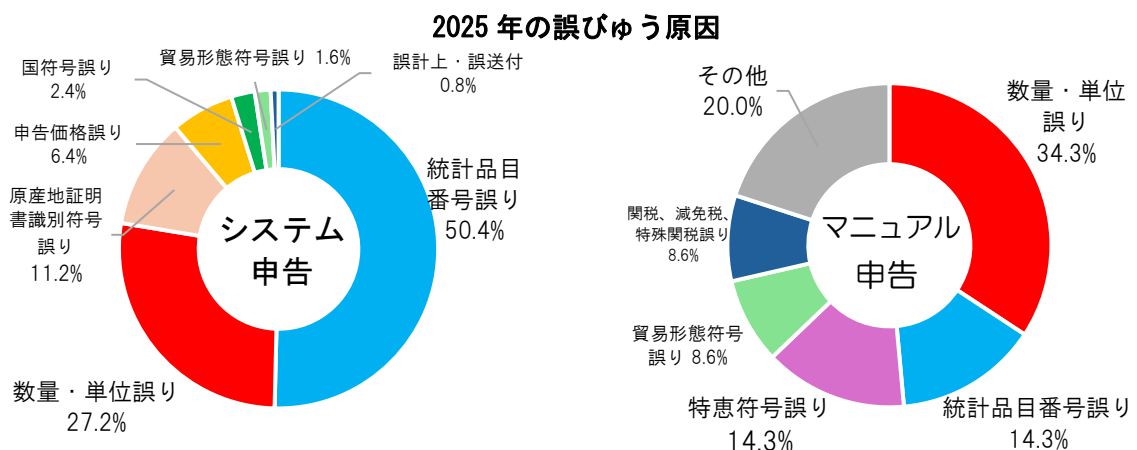
- ・「統計品目番号」が正しいか
- ・「申告数量・数量単位」とインボイス数量が一致しているか
- ・「通貨種別」がインボイスと同一であるか

再確認の例として、P4の「[価格再確認欄に表示が出た場合について](#)」をご参照下さい。

(2) 誤びゅうの主な原因

2025年に発生した誤びゅうの主な原因を見ると、システム申告においては、「統計品目番号」及び「数量・単位」によるものが全体のおよそ8割を占めています。

また、マニュアル申告においても、システム申告と同様「統計品目番号」、「数量・単位」誤りのほか、特惠符号の記載漏れなど単純な入力ミスが多く見られます。



(3) 誤りゆう事例

①統計品目番号の誤り

【事例】商品内容の確認不足

メイプル風味シロップの輸出申告において、調製食料品と申告すべきところ、かえで糖及びかえで糖水として申告。

※注意点

貨物の名称のみに頼って品目分類を行うのではなく、**貨物の性状や用途等**を踏まえて分類することが重要です。そのため、必要に応じて商品説明書や製造工程書などを入手し、**貨物の詳細**を十分に確認することが求められます。

②数量・単位の誤り

【事例】申告数量の入力誤り（詳細はP4の事例①をご参照ください。）

生地 of 申告において、インボイスおよび計算書に記載された数量（1139.00）を見誤り、本来1,139（SM）と申告すべきところ、113,900（SM）として申告。

※注意点

数量の誤りについては、ピリオドとカンマを見誤るケースやKGとMT、GRとKG、LとKLなど、インボイスに記載の単位と申告数量単位（第1単位及び第2単位）を誤るケースが多く発生しています。

申告の際、数量が不自然に大きく（小さく）なっていないか、また第1数量と第2数量の関係が不自然になっていないかよく確認する必要があります。

③申告価格の誤り

【事例】通貨種別の入力誤り（詳細はP4の事例②をご参照ください。）

自動車の輸出申告において、通貨種別を「JPY」ではなく、「USD」として申告。

（正）41,000,000円（4,100万円） （誤）41,000,000USD（約60.5億円）

※注意点

通貨種別の誤りは、インボイス等の申告書類をよく確認していれば防ぐことができたものが多いことから、申告の際には入念に確認をお願いします。

価格再確認欄「H」や「L」が出ている場合、**各欄の申告価格と通貨種別が正しいか**確認する必要があります。

④国符号誤り

【事例1】原産国の入力誤り

原産国がブルネイ（BN）であるところ、サン・バルテルミー島（仏）（BL）と申告。

【事例2】申告とは別の貨物と誤認したことによる原産国の誤り

原産国をカザフスタン（KZ）で申告すべきところ、中華人民共和国（CN）と申告。

※注意点

原産国の誤りは金額や数量が大きい場合、貿易統計に大きな影響を与えるため、申告内容をよく確認した上で申告をお願いします。

原産地コードが似ている組み合わせ

- ・ ID（インドネシア） と IN（インド）
- ・ BN（ブルネイ） と BL（サン・バルテルミー島（仏））
- ・ CN（中華人民共和国） と CM（カメルーン）

誤びゅうの多くは、統計品目番号、数量及び申告価格の誤りに起因しています。また、通貨単位や数量の入力誤りなどの単純なミスにより、正しい申告価格・数量に比べ、価格や数量が100倍、1,000倍になります。

これらの誤りが、貿易統計に大きな影響を与える可能性もありますので、内容を十分に確認して輸出入申告していただくようお願いします。



別添資料「[誤びゅう防止にご協力ください](#)」のチェック項目について、申告前にもう一度確認を行う等、誤びゅう防止にご協力をお願いします。

● 価格再確認欄に表示が出た場合について

【事例①】 輸出申告における数量の誤り

(欄部)

<01 欄>		価格再確認 [L]
品名 生地	統計品目番号 6006.23-000	
申告価格 (FOB) ¥600,000	数量 (1)	113,900 SM
	数量 (2)	256 KG

【ポイント】①

欄部の申告価格
をチェック！

申告価格はインボイスどおり！

【ポイント】②

欄部の数量
をチェック！

ピリオドを見落として申告！
→ 1139 SM に訂正

インボイス記載の
数量は 1139.00 SM

【事例②】 輸出申告における通貨コード（通貨種別）の誤り

(欄部)

<01 欄>		価格再確認 [H]
品名 自動車	統計品目番号 8703.21-915	
申告価格 (FOB) ¥6,051,190,000	数量 (1)	
	数量 (2)	15 NO

【ポイント】①

欄部の申告価格
をチェック！

インボイス記載の
価格は JPY 41,000,000

【ポイント】②

共通部の通貨コード
をチェック！

(共通部)

仕入書価格	FOB	<u>USD</u>	41,000,000
-------	-----	------------	------------

通貨コードを誤って申告！
USD→JPY に訂正

価格再確認欄に [H] や [L] が表示された場合、

まず初めに、欄部の申告価格が正しいかどうか確認してください。

共通部の仕入書価格や FOB 価格の通貨コードに「JPY」以外を入力した場合は、申告価格が適用レートに基づき邦貨（円建て価格）に換算された金額が欄部に自動で入力されることがあるので注意してください。



輸出入申告をされる皆様へ

2026年6月
横浜税関

誤びゅう防止にご協力ください！

貿易統計データは、我が国の経済政策策定のための基礎資料や各業界の貿易指標等に幅広く利用されており、データの誤びゅうは、貿易統計の信頼性を揺るがし、国際間の摩擦を引き起こしかねません。

- ✓ 統計品目番号(分類)は正しいですか？
- ✓ 計上単位(KG、MT等)は正しいですか？
- ✓ 通貨種別(USD、JPY等)は正しいですか？
- ✓ カンマと小数点を見間違えていませんか？
- ✓ 国コード、港コード、特惠符号は正しいですか？
- ✓ 特に、NACCS画面の価格再確認欄に「L」、「H」が表示された場合は、申告単価の再確認をお願いいたします！！

